



## ONE CHANCE ~きりひらけ未来への道を~

6月10日(金)に行われた生徒総会で、今年の生徒会スローガンが発表され、濱上生徒会長から次のような呼びかけがありました。

「このスローガンは、各クラスから募集したスローガンをもとに生徒会で集約し、考えたものです。1つのチャンスをものにし、自分の未来への道を自分たちの手で切りひらいていこうということです。これから自分一人では乗り越えられない試練や困難に立ち向かうことがあるようなときでも、まわりには支えてくれる温かい友達がいるはず。仲間を信じ、自分を信じ、心をひとつにして、この1年がんばりましょう」

昨年のスローガンにも“輝ける場所”という言葉がありましたが、“未来への道”も同じく、自分の力で切りひらき、見つけていかなければならないものです。そのチャンスをしっかりつかみとってください。

- ★ やらうと思ったことは、絶対にやっておいた方がいい。チャンスは二度と巡ってこなかったりする。<倉田真由美(漫画家)>
- ★ 後ろ向きでマイナス思考の人には、チャンスが訪れません。願いを叶える気魂と明るい希望を抱いた心がチャンスを呼ぶのです。<美輪明宏(俳優、演出家、タレント)>
- ★ 大きなチャンスがあなたの前に姿を現す時はきっと来る。その時、あなたはそれを利用できる準備ができていなければいけない。<シェークスピア(英国の劇作家、詩人)>
- ★ 何でもない現象の中にすばらしいチャンスが潜んでいます。しかし、それは強烈な目的意識を持った人の目しか移らないものです。目的意識のないうつろな目には、どんな素晴らしいチャンスもみることはありません。<稲盛和夫(実業家;KDDI創業者)>
- ★ 長い人生のうちで無我夢中で勉強するというチャンス、もう二度とやってこないかもしれない。青春にもし受験が無かったら、青春はただの広っばになってしまうだろう。青春という山があるからこそ、川ができ、谷ができ、坂道ができた。それを濡れながら走って渡って崖をよじ登っていく。こうして我々は努力するということを学習するのです。<坂本金八(武田鉄矢)>

### 先生方も切磋琢磨しています

「分かった授業」への授業改善をテーマに、先生方も定期的に校内研修で勉強しています。早速、今週月曜日の6校時、特定の学級に残ってもらって研究授業を行い、その後、先生方で討議会を行いました。

1年2組は、竹本先生がコンピュータを使った美術の授業を行いました。シュミレーション機能を生かして連続した美しい文様を作る授業で、生徒たちはコンピュータを巧みに操作し、思い思いの作品を完成することができました。2年2組は、木村先生が社会の授業を行いました。8代将軍吉宗の改革について、幕府、藩、農民など、それぞれの立場から享保の改革について考えました。2年4組は、高木先生が理科の授業を行いました。イカのからだの解剖を観察して、その特徴を見つける授業で、生徒たちは興味深く見入っていました。また、社会・理科ともに、授業の最初に小テストを行うことで、基礎的・基本的な知識や技能が習得できるよう工夫していました。この積み重ねが「分かった授業」につながっていくはず。



1年2組 美術



2年4組 理科



2年2組 社会

## 体育祭の感想（2年生）

※ 次回は3年生です。

- ◆ スカイボーイは、去年同様とてもよかったです。特に、最後のピラミッドは全員の力を1つに集中し取り組んでいる姿に感動しました。今年は、親子での綱引きができ、よかったですと思います。決勝であまりの力の差で負けたのはくやしかったです。3年生の総舞黎はいいですね。アンコールもよかったです。
- ◆ 春に移行して練習時間が短かったと思いますが、本番の子どもたちの演技やリレーなどがとてもすばらしかったです。感動しました。日頃見られない子どもたちの笑顔が見れて、楽しいひとときでした。時期的には春の方がよかったですと思います。先生方のご指導大変だったと思います。親子綱引きは、日頃保護者と顔を合わすことがないので、一緒に参加できるいい機会でした。
- ◆ 天候に左右されながらの練習、大変ご苦労さまでした。子どもたちはいきいきとした姿で、こちらも元気をいただきました。ありがとうございました。毎年恒例のリレーや踊り、体操など、とてもすばらしかったです。親子綱引きもよかったです。玉入れや大玉ころがしなど、ユニークな感じのものもあってよかったと思います。先生方の出番もいつも楽しく見ています。来年は天候に恵まれますように……。
- ◆ 5月は行事がたくさんあり、大変かと思いますが、春の体育祭の方がよかったですと思います。親子綱引きも子どもと一緒に楽しめました。得点競技になれば、もっと盛り上がると思います。
- ◆ 親子綱引きは、保護者の少ないクラスもありましたが、とても楽しく、本気で頑張れ、おもしろかったです。聞くのとやってみるのは違い、楽しい時間でした。
- ◆ 天候に恵まれず、練習も十分できていなかったはずですが、短期間で立派な体育祭ができたことに感心しました。子どもたちの一生懸命さが伝わってきました。体育祭の時期は、今年の台風は特別だと思うので、行事や授業に差し支えがなければ、春に実施でいいと思います。
- ◆ 短い練習時間だったけれど、組立やダンスは思っていたよりもよいできてました。子どもは、ダンスを自分たちで考えたかったようですが……。笑顔が少なかったのが残念です。毎年思うことは、服装がだらしない子が何人かいてとても目立ちます。腰までずらしてズボンをはいて、下着が見えているのはみっともないです。中学生として恥ずかしくない服装で、競技に臨んでほしいものです。
- ◆ 短い期間の練習でとてもよかったです。その中でも、男子の組立体操は見事で感心しました。親子綱引きもとても楽しかったです。また、先生方のリレーもおもしろかったです（とても速くてびっくりしました）。みんなに頑張ったで賞を送りたいです。台風等でハラハラしましたが、無事でできてよかったです。
- ◆ 実施時期がこの時期だと、お年寄りの方などに体の負担にならないので大変よいと思います。
- ◆ 実施時期は春に移行してよかったですと思います。子どもたちも練習時間が短かったにもかかわらず、頑張る成果を見せてくれましたし、何より体育祭を楽しんでいた姿がとても印象的でした。親子綱引きも平日にもかかわらず、多数の方が参加して、とても盛り上がったので、来年以降も続けていただけたらと思います（人数にばらつきがあるのは残念だけど、仕方ないですよ）。高橋先生をはじめ、永井先生、岩崎先生、諸先生方、熱心なご指導をありがとうございました。
- ◆ 天候の影響でどうなるのかと心配していましたが、中止にならなくてよかったです。子どもたちの頑張りが友達とのつながり（応援する姿、笑顔）が見れて、親としてうれしかったです。親子綱引きは、子どもたちやクラスの保護者の方ともかかわれてよいと思います。先生の旗振りとクラス一丸となったよい体育祭でした。先生方のおかげです。来年も期待しています。
- ◆ みんなでジャンプ、全員リレーは一人一人の気持ちを集中させ、一生懸命跳ぶ姿、走る姿が印象的でした。初めて参加した親子綱引きは、子どもたちと一緒に優勝の感動を味わいました。今年は梅雨や台風で延期になりましたが、春の方が季節もちょうどよく、子どもたちも見る側も演技や応援がしやすいです。
- ◆ 生徒みんな楽しそうに見えました。9月と比べて気持ちよく見ることができました。短い時間でよくまとまった動きができるものだと感心しました。日程が変更になっても、外で体育祭ができるのがよいと思います。
- ◆ 中間テストや修学旅行があった上に、降り続いた雨のため、練習があまりできなかったにもかかわらず、見応えのある体育祭でした。今年から親子綱引きが種目になり、最初は子どもたちが喜んでくれるのかなあと心配していましたが、1勝するたびに子どもも親もテンションが上がり、どこからともなく「優勝するぞ〜」という声が上がって、親子で一致団結できたすばらしい競技となりました。
- ◆ 日曜日にできなかったため、仕事の合間に少しだけ見に行きたくて行きました。昼からの部活動行進、部活リレー、学級対抗しか見れなくて少し残念でしたが、本当なら見ることができなかったのに見れてうれしかったです。昨年も、学級対抗リレーの校長先生はとても頑張っているのだから、その姿がとても印象的です。子どもたちとの距離が近くて、子どもも喜んでいました。校長先生、来年もがんばってください。